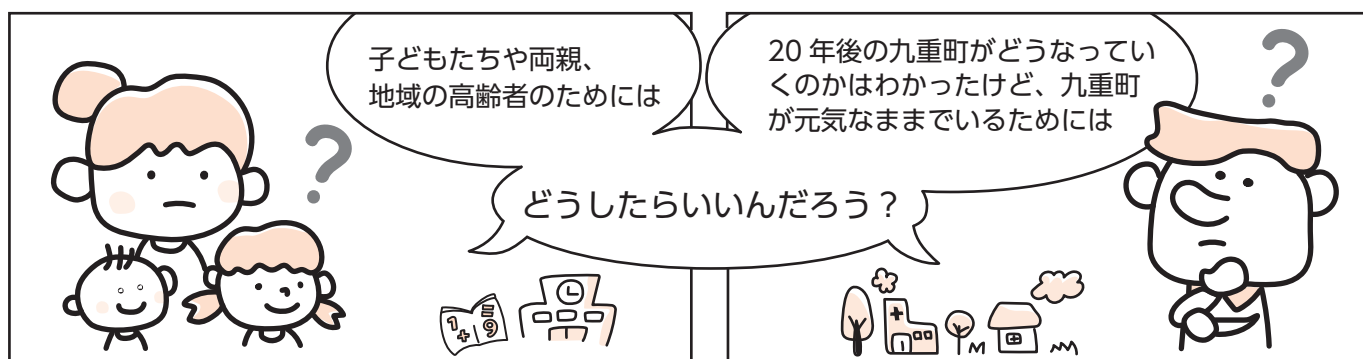




今後のまちづくりの方向性は?

人口増加を前提としてきたこれまでの制度や運用は、これからやってくる人口減少社会では、同じようにしても効果が発揮できない可能性が高い

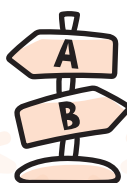
インフラ（水道や道路等）や公共施設は、もうすぐ更新時期を迎えます。

人口が減少していくなかで、どれを残してどのように活かしていくのか? 「選択と集中」という言葉を、より考えて実現化し、人口減少社会を見据えた九重町にシフトしていくことも必要に。



A 地域コミュニティの充実

「住民との協働＝簡素で美しい田舎づくり」として進めてきた、地域コミュニティを充実させることで地域の絆を取り戻す。これにより、小規模自治体でありながらも、住民の皆さんの満足度を高めることが、持続可能で魅力的な九重町として存続するために必要。



B コンパクトな町づくり

加速化する高齢化・人口減少に加えて、居住エリアも広範囲に点在している九重町の特徴を踏まえ、行政効率（経済性）の観点からも地域の中心エリアに集住し、コンパクトで効率を重視した町づくりの推進が必要。

